

---

## NEWS RELEASE

---

# デジタルガレージ、米 Twitter 社に 4 回目の出資 ～ 日本向けサービスの運営支援と普及促進に向け体制を強化 ～

---

株式会社デジタルガレージ(JASDAQ 4819、本社:東京都渋谷区、代表取締役/グループ CEO:林 郁、以下:DG)は、全額出資子会社で投資・育成事業を手がける株式会社 DG インキュベーション(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:南 一哉、以下:DGI)を通じ、ミニブログ・サービス「Twitter」を運営する米 Twitter 社(米国サンフランシスコ、CEO:エバン・ウィリアムス)に追加出資しました。DGIによるTwitter社への出資は、2008年1月と同年6月、2009年3月に続き4回目に当たります。

Twitterは、世界規模で成長を続けています。2008年4月に公開した日本語版に続き、2009年の後半にスペイン語版、フランス語版、イタリア語版、ドイツ語版を立ち上げました。また2009年10月には、Twitterに投稿したツイート(つぶやき)の検索サービスへの利用について、Google社、Microsoft社とそれぞれ提携を発表し、本格的な事業拡大を始めています。日本でも2010年1月に鳩山首相がTwitterの利用を開始するなど、大きな注目を集めるサービスになりました。

DGは、今回の追加出資を契機に日本におけるTwitterの普及に向けた支援体制をより一層強化します。2009年11月に発足した社内組織「Twitterカンパニー」を中心とし、Twitter日本語版(<http://twitter.jp>)および日本の携帯電話に向けたTwitterの公式サイト(<http://twtr.jp>)の運営についてTwitter社に引き続き協力するほか、子会社である株式会社CGMマーケティング(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:林 郁)によるユーザー向けのプロモーション活動などを通じ日本におけるTwitterの普及を引き続き推進していきます。

### 「Twitter」について

Twitterは、「What's Happening?」(いまどうしてる?)というシンプルな問いかけに140文字以内で答えることによって、さまざまなユーザー同士がつながるコミュニケーション・ツールです。投稿したメッセージは、自分を「フォロー」しているユーザーにリアルタイムで届きます。日常的ななにげないやりとりから、企業によるプロモーションへの活用に至るまで、Twitterの使い方はさまざまです。メッセージのやりとりには、Webサイトだけでなく、パソコンで動く各種の専用のクライアント・ソフトウェアや携帯電話を使えるなど、コミュニケーション・ツールとして自由度が高いという特徴があります。